

田井の里からひろがる被災地支援

3・11東日本大震災の被害者支援の輪が田井地区でもひろがっています。

●筑波フィッシングクラブ

田井地区等の釣り愛好家の会、「筑波フィッシングクラブ」は、4月23日、会の積立金と支援金で、菊地宏さん所有のバスに詰めるだけのカツプラーメン、パン、紙おむつ、子供服、飲料水等を用意して、9名の仲間と東松島の避難センターに向き支援活動を行いました。



筑波フィッシングクラブが支援に行った東松島の光景

●後藤泉チャリティーコンサート

六所の美六山荘において、ピアノストの後藤泉さんが、東日本大震災の支援のため、6/11(土)チャリティーコンサートを開きました。集まった支援金は、国際文化交流劇団「曼珠沙華」の、福島県の被災者を励ますための公演に使われました。なお、「曼珠沙華」は、同じく原発事故のあったチェルノブイリの被災地域に居住している人たちの支援公演を何度も行っています。

森田源美(六所地区)

●臼井・神郡地区

「つくば道を花で飾ろう」という運動が続いている、臼井、神郡地区のみなさんが、東日本大震災の被害に遭われた方々のために花壇から応援メッセージを渡し、募金活動を行っています。

田井地区の区長さん、つくば市役所や臼井老人会の方々も参加して、4月10日、6月11日の2回にわたって行われました。「がんばろう!日本」の花文字を作った後、被災時刻に黙とうし、募金を集めました。

募金は植松新聞店から被災地に届けられました。



この思いが被災地に届きますように

今後7月から10月まで、毎月11日、朝8時から草取りや水まきなど、花の手入れを行う予定。募金活動も引き続き行い、息の長い支援をしていきたいとのこと。

小沢陽子(漆所地区)

●その他に、田井の各地区でも支援金が集められ、被災地に届けられています。

人形浄瑠璃を観てみよう! 演じてみよう!



うしろからみてる人形を振ります

漆所に住む木彫刻家の酒井三徳さんは、茨城県でただ一つの人形浄瑠璃の一座、「真壁白井座」(桜川市)のメンバーです。

酒井さんたちは、江戸時代からこの地域に伝わってきた伝統芸能を衰退させるわけにはいかない、10年前から町をあげて復活に取り組んできました。

今回、カスミグループの「わたしの企画応援します」に応募、入選し、10月2日カスミつくばセンターにて上演することになりました(問合せは029-850-1824)。当日は白井座による人形浄瑠璃の上演他に希望する人は衣装をつけて実演の体験もできます(事前に申込みが必要)。白井座ではこれからも長く継続していくために、広くメンバーの募集を行っています。たくさんの方々の参加をおまわししています。

上野節子(小沢地区)

グリーンツーリズムプログラム①

親子でオススメ! とって・つくって・たべる農業体験

筑波山麓田井地区の農家の協力のもと、農業体験が開催されます。収穫から加工し、それらを食べるまでの体験で、「カボチャスープ」「シソジュース」「福来ミカン生食」と3種の体験イベントが開催されます。それぞれ準備が始まっているということで、早速、開催農家さんへうかがってきました!

カボチャをつくるのは館地区の櫻井登さんと阿久津新一郎さん。カボチャづくり25年の櫻井登さんは近所の農家の中でも丁寧な野菜づくりをする評判の方。25年前、カボチャをつくる農家は少なく、試行錯誤からはじまったそうです。なので、カボチャに対する思い入れはひとしおです。1つ苗からつくるカボチャの数を決めていて、スープには年間30個という貴重なカボチャを提供していただきます。土づくりもこだわり、有機肥料を使ってできたカボチャの味はポクポクして甘いそうです。ちなみに作付けたカボチャは雪化粧



雪化粧などめずらしい品種もつくる櫻井さん

ミニカボチャ、みやこカボチャの3種。それらカボチャを「ぼんどう太郎」専属の料理人指導のもと美味しいポタージュに調理する収穫体験とポタージュづくりを開催します。

福来みかんの木と菊地さん



福来ミカンを育てるのは館地区の菊地定さん。菊地さんは以前田んぼだった場を有効活用して福来ミカンだけでなく、温州ミカンやリンゴ、ブルーベリーと様々な果樹を育てています。ミカンなど柑橘類は筑波山周辺が北限とのこと。寒い地域で育ったミカンは酸味が強く、甘酸っぱ

編集を終えて.....

筑波山麓での新たな取り組みが始まりました。豊かな自然や万葉以前から連綿と続く歴史、農を営み知恵を重ねて築いてきた暮らし、この地に愛着と誇りを持ち様々に活動する人々、「すそみ」は「すてき」に満ちています。そんな「すてき」を発信し、たくさんの人とわかち合いたいと思います。筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会ではホームページも制作予定。ご期待ください!

すそみサポーター 敬称略

つくば市小田	大曾根隆
つくば市小沢	杉田慶也
つくば市神郡	桜水会(豊浦)
筑波大学	出口正義
つくば市六所	美六山荘
つくば市白井	鮎川隆雄

※協賛会員「すそみサポーター」募集中! 103000円

デザイン: 小沢陽子(漆所地区)

私たちが応援しています!

い果実に育つとか。福来ミカンは、果肉を食べるだけでなく香りの高い皮も利用でき、お菓子、七味にと幅広く使われています。秋祭りで毎年好評の「すそみ茶屋の福来ミカンクッキー」にも使われます。

シソの様子を見守る森田源美さん



シソをつくるのは、六所地区の森田源美さん、森田文男さん、松崎伝一さん。シソは丈夫で手軽にできる作物です。種まきの時期をずらすことで、7月から10月頃まで収穫が楽しめます。シソジュースに使うシソは梅干しでおなじみの赤シソ。ジュースにすると鮮やかな赤色になります。そこに蜂蜜をいれると、とってもヘルシーです。シソには花粉症などアレルギー症状を軽減できる成分が含まれているそうです。今年の夏、定番ウメジュースのほかにシソジュースもいかがでしょうか?

安藤慧(里山建築研究所)

第20号

すそみろく

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第20号(平成23年8月1日)

発行・すそみろく編集委員会 TEL029-866-1122 (田井の里地域づくり愛好会・森田) TEL029-863-5151 (NPO法人つくば環境フォーラム・田中)



